

茅ヶ崎市における都市間交流の基本的な考え方

1 都市間交流とは

本市における都市間交流は、様々な都市やそこに暮らす人々と交流することにより異なる環境で育まれた人々の生活や文化を理解し、相互に尊重する心を醸成し親善を深めることを目標にしています。

また、相互の住民がそれぞれのまちが持っている歴史、文化、地理等についての知識や理解を深め、市民が多様な価値観に触れることにより、地域の独自の魅力や強みを再認識し、地域への愛着と誇り（シビックプライド）を育み、その持続的な効果を期待するものです。

2 都市間交流の現状

現在の都市間交流の種類について

本市の都市間交流は、交流都市との間で両市の状況を鑑み、適切な協定名が決定され、次のように交流を実施しています。

協定の種類	交流の分野	交流都市名	目的と交流の特徴	議会の議決
姉妹都市友好協定	複数分野の交流	ホノルル市・郡 (アメリカ合衆国 ハワイ州)	国際理解を通じたグローバル人材の育成や、地域における多文化共生社会への貢献を目的とした、国境を越えた都市間の交流。	○※1
ゆかりのまち提携協定	複数分野の交流	愛知県岡崎市	「大岡裁き」で有名な大岡越前守忠相公との歴史的な縁からゆかりのまち協定を提携し、文化、観光等あらゆる分野における交流。	—
災害時相互応援協定	限定的な交流	愛知県岡崎市	災害時の相互支援を目的とし交流分野が限定的な協定。	—
		長野県佐久市		—
		岐阜県関ヶ原町		—
		茨城県ひたちなか市 千葉県市川市 静岡県富士市		—
		宮城県南三陸町 など		—
特産品相互取扱協定	限定的な交流	大阪府泉佐野市	両市双方の特産品を相互に取り扱い、経済連携を図る交流分野が限定的な協定。	—

- 都市間交流はそれぞれの目的と内容が異なるため、序列を決められるものではありません。
- 北マケドニア共和国と行っているホストタウンの交流は国を対象としているため、都市同士の交流である都市間交流とは区別し、記載していません。

※1 茅ヶ崎市議会の議決すべき事件を定める条例第2条第2号で「姉妹都市の提携をすること」が議会の議決すべき事件に定められています。

※2 愛知県岡崎市及び長野県佐久市については、複数分野の交流に限定的な交流も含まれます。

3 姉妹都市・ゆかりのまち・友好都市等提携の基本的な視点について

次のような視点で総合的に勘案し、姉妹都市・ゆかりのまち・友好都市等提携について判断します。

(1) 市民に明確な恩恵があること

市民生活・地域活性化に寄与する効果が見込まれること。

(2) 複数分野で交流が既に存在していること

文化、スポーツ、物産・産業、防災、青少年交流など、複数分野で実績がある、または積極的に交流を希望していること。一過性の交流ではなく、継続性のある関係が確認できること。

(3) 地域特性の補完性・親和性があること

自然、歴史、文化、産業など、互いの特徴を生かした交流の展開が見込まれること。双方が協力することで市民や自治体同士に相乗効果が期待できること。

(4) 双方の首長が継続的な協力意志を持っていること

首長をはじめ、双方の自治体で交流目的が合致し、長期的な交流に前向きであること。交流事業を実施するための連絡体制や担当窓口が明確であること。

(5) その他

既存の都市間交流との関係を損なわないこと。

4 その他留意事項について

(1) 都市間交流の名称

都市間交流の名称には「姉妹都市」「ゆかりのまち」「友好都市」などがあり、これらを区分する法律や全国共通の基準がないため、名称は歴史的経緯や交流の内容、首長同士の信頼関係など、その時々関係性を踏まえ、当事者である自治体同士が話し合っ決定することとする。

(2) 都市間交流の序列等

本市として現状では一律の序列や基準を設けていない。

(3) 交流方針等の共有について

都市間交流を進めるにあたっては、交流の目的や方針等を明確にし、双方で共通認識を確認・共有することとする。

(4) 今後の都市間交流の進め方について

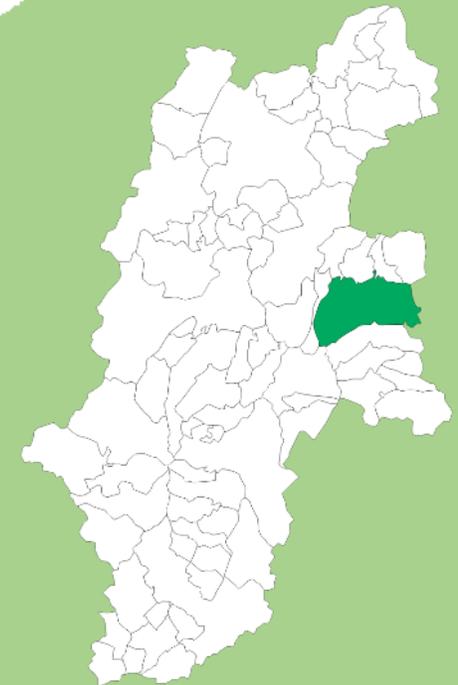
個々の交流の成り立ちを尊重し、持続的な関係を築くことを重視して交流することとする。



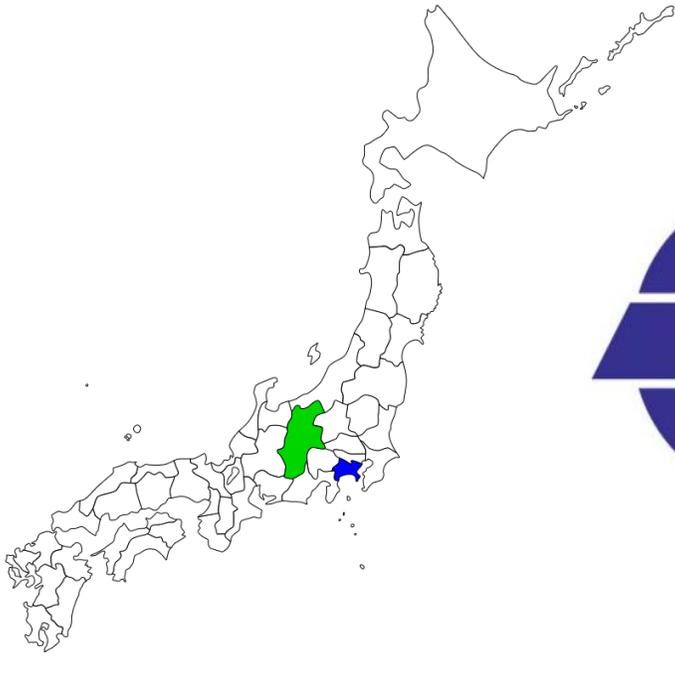
茅ヶ崎市

佐久市

友好都市提携について



文化スポーツ部多様性社会推進課
企画政策部秘書課



現在の都市間交流の種類について

● **本市の都市間交流は、交流都市との間で両市の状況に鑑み、適切な協定名が決定され、つぎのように交流を実施しています。**

協定等の種類	交流の分野	交流都市名	目的と交流の特徴
姉妹都市友好協定 (平成26年10月締結)	複数分野の交流	ホノルル市・郡 (アメリカ合衆国 ハワイ州)	国際理解を通じたグローバル人材の育成や、地域における多文化共生社会への貢献を目的とした、国境を越えた都市間の交流。
ゆかりのまち提携協定 (昭和58年10月締結)	複数分野の交流	愛知県岡崎市	「大岡裁き」で有名な大岡越前守忠相公との歴史的な縁からゆかりのまち協定を提携し、文化、観光等あらゆる分野における交流。
友好都市提携協定 (令和8年4月調印予定)	複数分野の交流	長野県佐久市	災害時相互応援協定を通して育んできた絆を礎に、両市の豊かな未来を共に創造することを目指した交流。岡崎市と同等の交流内容。
災害時相互応援協定	限定的な交流	(愛知県岡崎市)	災害時の相互支援を目的とし交流分野が限定的な協定。
		(長野県佐久市) (平成25年1月締結)	
		岐阜県関ヶ原町	
		茨城県ひたちなか市	
		千葉県市川市	
		静岡県富士市	
宮城県南三陸町など			
特産品相互取扱協定	限定的な交流	大阪府泉佐野市	両市双方の特産品を相互に取り扱い、経済連携を図る交流分野が限定的な協定。

両市のこれまでの交流

危機管理

協定・情報交換会・応援支援

首長・議会交流

両市のイベントへの参加・視察

青少年交流

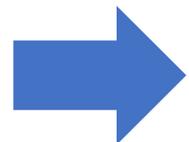
小学生のスポーツ交流

物産交流

両市のまつり・物産展への出品

農業交流

自然や農業に触れる機会の創出



これまで、危機管理分野を契機として、首長・議会交流、青少年交流、物産交流、農業交流など、多岐にわたる分野で着実な交流実績を積み重ねてきました。

佐久市との交流の評価と分析

「限定的な交流」から「多角的・包括的な交流」へ

● 災害時相互応援協定の締結とその内容

- ・平成25年1月31日、両市間で「佐久市・茅ヶ崎市災害時における相互応援に関する協定」を締結。さらに、同年7月1日には、岡崎市・関ヶ原町を加え、3市1町による「災害時相互応援に関する協定」を締結し、広域的かつ強固な相互支援体制へと発展しました。
- ・本協定には、災害発生時における「食料や生活必需物資、資器材の提供」「救助や応急復旧に必要な職員の派遣」「救援・救助活動に必要な車両の提供」などが盛り込まれています。

● 協定を契機とした交流

- ・災害時相互応援協定締結を契機として、災害、教育・青少年、物産・観光交流など、協定締結の枠組みを超えた、複数分野での交流が育まれています。（スライド2のとおり）

● 都市間交流の拡充による「地域力」向上への期待

- ・両市の都市間交流の拡充は、観光振興、特産品の販路拡大、ビジネス機会の創出、文化・教育の振興、教育交流、市民生活の向上など、地域の活性化と地域力の向上に大きく貢献することが期待されます。



交流の評価

両市の交流は、「災害時の協力関係という限定的な交流」から「複数分野の交流」へと発展してきました。これまでの交流実績を土台とし、互いの特性を活かしたさらなる多角的・包括的な交流への機運が高まっています。

友好都市提携に向けた総合的判断（5つの視点）

●本市では佐久市からの提携の申し出に対し、つぎの5つの視点から検討を行い、市民への恩恵と地域力の向上が大いに期待できると判断いたしました。

視点	理由
(1) 市民への恩恵	<u>市民生活の向上や地域活性化に寄与する効果が見込まれる。</u> <u>民間主体の多様な参画</u> が想定され、 <u>実効性の高い交流</u> が可能である。
(2) 複数分野での交流	既に災害、教育、物産、農業等の <u>多角的な実績</u> がある。提携により、ビジネスや観光など <u>他分野へのさらなる拡充</u> が見込める。
(3) 地域特性の補完性	「 <u>湘南の海</u> 」と「 <u>内陸の山・高原</u> 」という対照的な <u>地理的特徴</u> を持つ。 <u>災害時の相互支援における補完性</u> に加え、 <u>観光・産業面での親和性</u> も高い。
(4) 継続的な協力意志	<u>10年以上にわたる交流</u> を通じ、 <u>両市の首長間で強固な合意形成</u> がなされている。行政・議会・市民の各層で安定した協力体制が構築可能である。
(5) その他	本市の都市間交流において、既存の都市間交流との関係を損なうことはない。

友好都市提携の目的

〈目的〉

災害時相互応援協力で育んだ絆を礎に、「市民と市民」の顔が見える平時交流を広げ、両市の豊かな未来を共に創造します

災害時相互応援協定で結ばれ、複数分野での交流を深めてきた佐久市と茅ヶ崎市は、この信頼を基に友好都市提携を結びます。

本提携は、単なる自治体間の連携に留まらず、「市民と市民」が直接つながり、多角的・包括的な交流を目指します。互いの文化や自然への理解を深め、顔の見える交流を通じて、地域の活性化と温かい絆を築いていきます。

平成25年1月31日

災害時における相互応援に関する協定提携 以降

災害時の
人的支援・物資支援

青少年・スポーツ
・物産交流

友好都市提携を機に

互いの特性を活かした
多角的・包括的な交流へ
深化・拡充

交流事業推進の方針

現在までの交流実績を確固たる土台とし、行政主導から「市民と市民」が主体となる多角的・包括的な交流へと深化させます。総花的な交流ではなく、実効性と継続可能性に優れた交流事業を重点的に推進します。

◆現状を土台とした交流

総花的ではなく、これまでの交流実績の経過を踏まえ、行政のみならず、「市民と市民」が主体的に交流できる事業を推進し、実効性があり継続可能な交流事業を重点的に実施します。

◆両市の特性を最大限に生かした交流

「湘南の海（茅ヶ崎）」と「高原都市・山（佐久）」。この対照的な地理的特徴を交流の最大の核とします。新幹線・高速道路ネットワークによる高いアクセス性を最大限に活用し、地域特性を体験し合う付加価値の高い相互交流を展開します。

◆段階的な拡充と多様な主体との連携

既存の交流を着実に実施しつつ、ニーズに応じて段階的に交流分野の拡充を検討します。多様な主体の参画を積極的に促すことで、行政のみでは生み出すことができない新たな事業や活力を創出します。「多様な主体の交流」と「行政の継続的な連携」を両輪とし、安定した交流基盤を構築します。

➡ **「湘南のゲートウェイ、茅ヶ崎」と「日本一海から遠い、佐久」**

今後の新たな交流（案）について

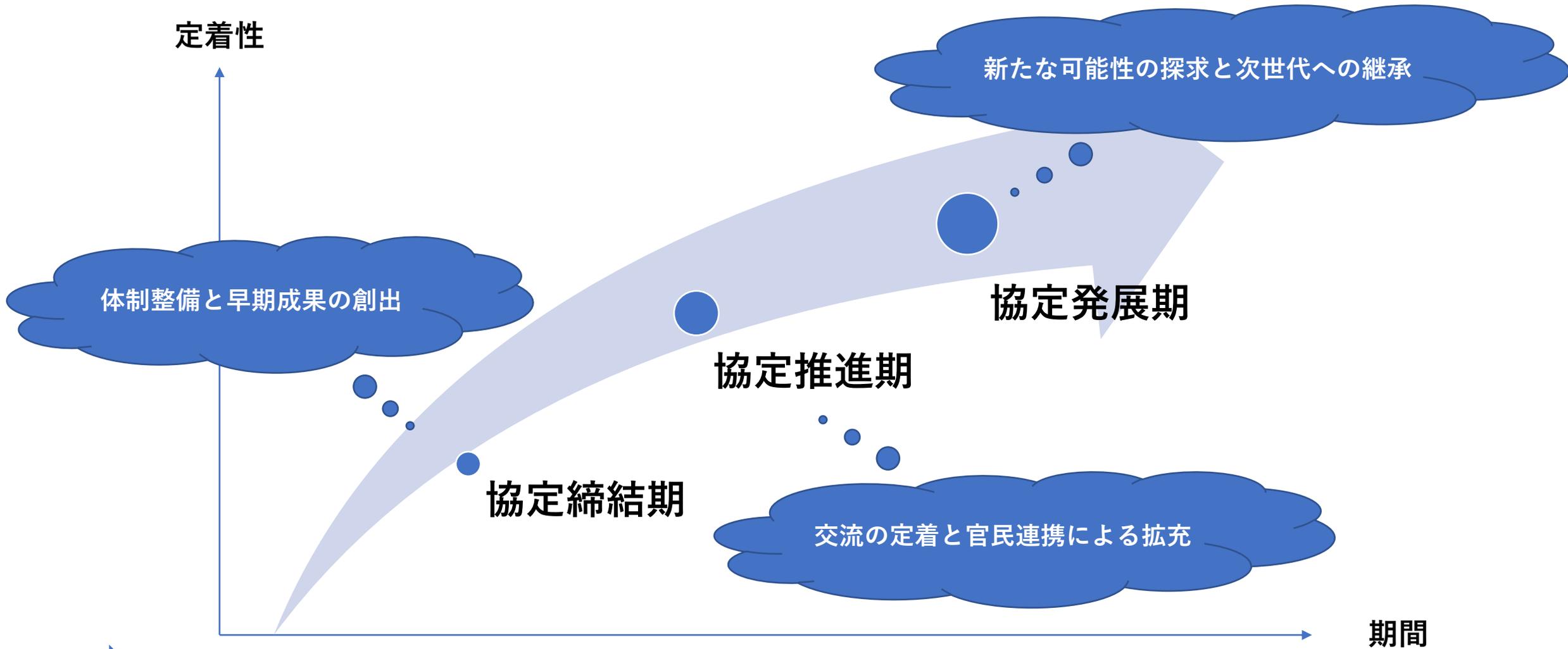
テーマ：「湘南のゲートウェイ、茅ヶ崎」と「日本一海から遠い、佐久」

事業	区分	対象	概要	効果
熱気球係留体験	行政主体	全市民	「熱気球のまち佐久市」のPR×新体験 茅ヶ崎市内を会場として熱気球の係留体験イベントを実施。	熱気球のまち佐久市としての魅力を茅ヶ崎市民に知ってもらおうとともに、なかなかできない搭乗体験を通じて、相互の認識と交流への関心を高めることを目的とします。
市民限定優待サービス事業	民間	全市民	茅ヶ崎「海」×佐久「山」 ・佐久市パラダスキー場リフト券割引 ・荒船パノラマキャンプフィールド キャンプサイト利用料割引や薪のサービス提供など	「海の魅力」と「山の魅力」を相互に提供し合うことにより、両市民がそれぞれの観光資源の恩恵を受け、交流の機運を高めます。 持続可能な民間交流の土台が築かれ、地域間交流の促進に繋がります。
道の駅産地間交流事業	民間	全市民	道の駅湘南ちがさき×道の駅ヘルシーテラス佐久南 ・常設または期間限定のイベントやフェアとして互いの地域特産品を道の駅の一角に出品し販売。 ・お互いの道の駅のプライベートブランド製品の提供・販売。	特産品の消費拡大と両市のPRを行うことにより、両市の相互理解の促進を図ります。
社会体験事業	民間	子ども	東横INN茅ヶ崎市役所×東横INN佐久平駅浅間口	(株)東横イン様の地域貢献事業を活用し、相互の青少年に学びの場を提供します。
市民限定宿泊優待サービス	民間	全市民	「宿泊料金の割引制度」 茅ヶ崎市にお住まいの方または茅ヶ崎市にお勤めの方が佐久市の対象施設に宿泊される場合、宿泊料金が10%割引。	相互訪問の促進を図ることにより、交流人口の基盤構築と地域経済の活性化に繋がります。

市民・民間事業者からのニーズの高まりを見極めつつ、これまでの実績を基盤として、時宜を得た『交流の拡充』を図ります

『交流の拡充』：観光振興、特産品の販路拡大、ビジネス機会の創出、文化・教育の振興、教育交流、市民生活の向上などを想定

■ 今後の交流計画・ビジョン



体制整備と早期成果の創出を実現し、交流の定着と拡充、次世代への継承を目指します

スケジュール (案)

	1月	2月	3月	4月
佐久市	議案提出準備	2/10 トップ会談 議会運営委員会 定例記者会見 2/17 議会開会 議案提出	議決 3/23 議会閉会	調印式 4/18
茅ヶ崎市	議会全員協議会	2/19 定例記者会見 2/24 施政方針	3/23 意思決定・決裁	

別添資料

(参考) 両市の概要

	佐久市	茅ヶ崎市
人口 (R7.4.1現在)	97,258人	247,054人
面積	423.51km ²	35.76km ²
地理的特徴	<p>雄大な山々に囲まれた内陸の地方都市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国トップクラスの晴天率 ・気象観測史上、一度も熱帯夜の観測がない冷涼な気候 ・日本一海から遠い地点 ・上信越自動車道や北陸新幹線による首都圏への良好なアクセス 	<p>相模湾に面した海岸都市 (湘南エリアの中心)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して温暖な気候 ・富士山や江の島を望む、美しい景観 ・JR東海道線による都心への良好なアクセス
主な地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・高原 (キャンプ場、望月少年自然の家) ・龍岡城五稜郭 ・スキー場 ・温泉 ・子ども未来館 ・宇宙関連施設 (JAXA、うすだスタードーム) ・先進的な地域医療 	<ul style="list-style-type: none"> ・相模湾 ・マリンスポーツのメッカ ・サザンビーチちがさき (えぼし岩、海水浴) ・サザンオールスターズゆかりの地としてのブランドカ ・アロハ文化
特産品	高原野菜、米、地酒、味噌 果物 (りんご、プルーン、桃)	しらす、海の幸、湘南ゴールド、 湘南ビール、地酒

両市間のアクセス：高速道路網および新幹線により、概ね2時間30分で結ばれる

(参考) 両市のこれまでの交流 (現在継続中の交流)

No.	分野	事業 (イベント等)	開催日時	場所	参加人数	事業の内容
1	危機管理	佐久市・茅ヶ崎市 災害時における相互応援に 関する協定	H25.1.31			災害対策基本法の規定に基づき地震等の大規模な災害が発生し被災した市のみでは十分な応急措置を実施できない場合において、相互に応援する協定を締結。
2		災害時相互応援に関する協定	H25.7.1			佐久市、岡崎市、茅ヶ崎市、関ヶ原町の3市1町で締結。
3		災害時相互応援に関する協定に 基づく情報交換会	毎年持ち回り	R6関ヶ原町 R7 岡崎市 R8茅ヶ崎市		H25年の災害時相互応援に関する協定締結以降、ゆかりのまち災害時相互応援に関する協定に基づき、防災担当者による情報交換会を毎年実施。
4		災害時相互応援協定に基づく 支援実績	①R1 : 10/23~11/7 ②R2 : 1/ 1 ~ 3/31	茅ヶ崎市から 人的支援 物資支援		茅ヶ崎市から佐久市へ令和元年東日本台風災害支援 ①耕地等の災害調査・設計 13日間 (6人) ②公費解体制度設計等 3か月間 (1人)
5	青少年交流	青少年交流事業 (小学生のスポーツ交流)	R6実績 11/10 10:00~17:00	茅ヶ崎市 文教大学湘南 キャンパス	佐久市57人 茅ヶ崎市71人 岡崎市39人 合計167人	岡崎市・茅ヶ崎市・関ヶ原町・佐久市による小学生バレーボール交流を実施。会場は茅ヶ崎市と岡崎市の隔年実施 (佐久市は茅ヶ崎市会場の際に参加)。
6	首長・ 議会交流	大岡越前祭	4月	茅ヶ崎市		災害時相互応援協定の締結を契機に、首長・議員などが毎年相互にイベントに参加・視察。
7		茅ヶ崎サザン芸術花火大会	6月	茅ヶ崎市		
8		浜降祭	7月	茅ヶ崎市		
9		佐久バルーンフェスティバル	5月	佐久市		

(参考) 両市のこれまでの交流 (現在継続中の交流)

No.	分野	事業 (イベント等)	開催日時	場所	参加人数	事業の内容
10	物産交流	ちがさき産業フェア (春の市民まつり)	4月第3週末	茅ヶ崎市 総合体育館ほか		両市の重要な物産交流や観光PRの場として、それぞれの特産品を毎年継続して出品。 佐久市からは、鯉のうま煮、安養寺みそ、地酒、そば、漬物等を、茅ヶ崎市からは、海産加工品や銘菓といった特産品を販売。
11		佐久市農業祭 「友好都市物産展」	11月第2週 9:00~14:00	佐久市 駒場公園		
12	農業交流	りんごオーナー制度	収穫体験会 R6 11/23~24 (土日) 10:00~15:00	佐久市 佐久平果実生産 組合圃場		佐久市のリンゴ園でリンゴの樹のオーナーを募集。 オーナーには11月下旬ごろに収穫体験を通じて佐久の自然や農業に触れる機会を提供。 茅ヶ崎からの申込み R6:1件 ※過去の実績 H29:9件 H30:9件 茅ヶ崎市の広報掲載、ラジオ番組で募集

(参考) 両市のこれまでの交流 (現在完了している交流)

No.	分野	事業（イベント等）	開催日時	場所	参加人数	事業の内容
1	青少年交流	第9回宇宙飛行士ゆかりのまちサミット	H29 8/9（水） 14:00～16:00	茅ヶ崎市 市役所議場	佐久市民18人 茅ヶ崎市民も多数参加	宇宙飛行士にゆかりのあるまち同士の都市交流として、宇宙飛行士の応援を通して次世代を担う子どもたちの夢と希望を育む目的で、H13年に埼玉県大宮市（現さいたま市）でサミット開催開始。第9回の茅ヶ崎市開催時に佐久市の子どもがリモートで参加。
2		ジュニアリーダー研修 （小学生の交流）	H30 10/6（土） 10:00～15:30	茅ヶ崎市 柳島記念館	佐久市民31人 茅ヶ崎市民5人	佐久市のジュニアリーダー研修生が日帰りの日程で茅ヶ崎市を訪問し、相互交流や観光交流を実施。 （R1：佐久市台風被害により中止、R2以降：事業見直しにより終了）
3	農業交流	農業体験 バスツアー	H26 9/27～28 （土日）	佐久市 浅科地区、望月地区、前山地区	茅ヶ崎市民 親子6組12名 +職員3名	佐久市における農業体験その他の交流ツアーとして、茅ヶ崎市民を対象に実施。 稲刈り体験、高原野菜・りんご・プルーンなどの特産品の収穫体験のほか、そば打ち、子ども交流、市内の観光交流施設の見学などを実施。 （H30：中止、R1以降、事業見直しにより終了）
4		農業体験 バスツアー	H27 10/31～11/1 （土日）	佐久市 チクマ農園 子ども未来館 市民交流ひろば	茅ヶ崎市民 親子7組14名 +職員3名	
5		長野県佐久市を訪れる 子ども会バスツアー	H28 10/9（日） 10:00～16:00	佐久市 チクマ農園 子ども未来館 市民交流ひろば	茅ヶ崎市民 小中学生16名 +保護者、 職員4名	
6		茅ヶ崎市都市交流事業 バスツアー	H29 10/1（日） 9:50～16:00	佐久市 梅屋果樹園 スタードーム 市民交流ひろば	茅ヶ崎市民 親子9組18名 +職員3名	